

委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】
内容報告書

団体名：SIL札幌日本語学校

1. 事業の概要

事業名称	北海道における日本語教育推進プロジェクト ― 地域多文化共生を目指して2016
事業の目的	外国人が日本で生活していく上で必要となる日本語能力を身につけ、地域に溶け込み、コミュニティの一端を担うことができることを行政や各団体の協力を得て目指す。多文化共生社会の実現に近づくために、異文化を理解し合ったうえで地域社会活動に参加できるような日本語指導・習得を目指す。 北海道の札幌市外の地方に在住しており、定住先自治体に日本語教室がなく日本語教育の機会がない外国人や、冬季積雪などの事情により教室に通えない外国人学習者にスカイプで生活に必要な日本語指導を実施し、その知見を公開する。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	札幌圏においては成人向けの日本語ボランティア団体は多く、通える外国人は教科書メインの指導を受けることが多いようだ。日本語学習が必要にもかかわらず仕事などで多忙なため教室に通えない外国人は、日本社会の習慣風習制度などわからないまま、地域で孤立し帰国することもある。災害時、緊急時などの対応を正しくするためにも日本語教育は必要である。 札幌の特徴として在留する外国人の職業は研究職が多く、家族で来札すること多い。大人だけでなく、日本語がわからない子どもへの日本語指導は夏休み・冬休みに数日間程度、もしくは平日週一回一時間程度であり、加配教員が不在の学校では特に子供や保護者への対応が不十分なケースが散見される。子供には途切れることのない生活・学習言語指導が必要であり、地域社会で親も含めた家族ごとの受入れ環境の整備が課題である。外国人家族から地域の日本語教室や支援者に連絡があった場合に、自治体や学校等につなげる連携・働きかけが必要だが、十分にできていない。仕事を持たず家庭にいる親は自宅とスーパーマーケットなどを往復する程度で地域とのつながりが非常に希薄に見受けられる。
事業内容の概要	日本語教育の観点から地域を繋ぎ、他の多文化共生に取り組む団体と連携して、外国人の生きがいや自己実現につなげ、さらなる社会参加を後押しする。複数年の事業実施により、行政との関わりが毎年増えてきている。今まで日本語教育に携わることがなかった行政からも年々新しい協力を受けるようになり、その近郊からも受講生が駆けつけてくれるようになってきている。 本年度も講座を開講する市町村各機関等、及び過去の講座受講生(ボランティア・医療・ライフライン関係員従事者など)や地元医療機関、商店の協力を更に得ることなどで、日本語教育にサポートをいただき、過去25年にわたり継続してきた地域日本語教育の場をさらに発展させる。 道内各地に定住する外国人対象の日本語指導は、スカイプでの指導を展開し、将来的な地域体制作りに貢献する所存である。 取組1)★「親子で学ぼう日本語(生活の日本語)」 ★スカイプレッスンで学ぼう「社会参加につながる日本語(子育てと冠婚葬祭の日本語とマナー)」 取組2)あわてないで教えよう2016「札幌会場」「旭川会場」「千歳会場」「帯広会場」 取組3)教材「地域での子育てと冠婚葬祭」(A:子育て支援、B:冠婚葬祭の日本語とマナー)
事業の実施期間	平成 28年 5月～平成 29年 3月 (11か月間)

2. 事業の実施体制

(1)運営委員会

【運営委員】

1	神谷 順子	北海学園大学留学生会顧問(元同大学経済学部教授)
2	境 有紀子	(公財)札幌国際プラザ
3	林 真知子	札幌市夜間中学校
4	木本 みゆき	日本語ボランティア「窓」
5	岩村 登志恵	帯広市インターナショナル協会
6	外山 静枝	日本語ボランティア「たんぽぽ」
7	島 治美	SIL札幌日本語学校
8	Petia 佐々木	北海道大学工学部
9	西山 順子	日本語ボランティア「SNC」
10		



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年6月13日(月) 13:30～16:30	3時間	SIL札幌日本語学校	島 治美、木本 みゆき、外山 静枝、神谷 順子、境 有紀子、岩村 登志恵、Petia 佐々木	今年度の取組の協議と検討；取組(親子、人材養成)の場所、日程、対象者、募集要項、具体的内容、状況を確認検討
2	平成29年2月8日(水) 15:00～18:00	3時間	SIL札幌日本語学校	島 治美、木本 みゆき、外山 静枝、神谷 順子、境 有紀子、林 真知子、Petia 佐々木	・「親子で学ぼう日本語」講座(冬季)の経過内容報告 ・「人材養成」講座(札幌、旭川、帯広会場)の経過報告と協議、 ・それぞれの講座の募集及び進捗状況の報告 ・課題点を抽出し、これらについて検討し以後の活動につなげる
3	平成29年3月8日(水) 13:00～16:00	3時間	SIL札幌日本語学校	島 治美、木本 みゆき、外山 静枝、神谷 順子、境 有紀子、岩村 登志恵、林 真知子、Petia 佐々木	今年度の事業に関する総括、 ・それぞれの事業の最終的報告(参加人数、状況等)を行う ・参加者のアンケートを参照し、反省点、課題点を抽出する ・事業の改善点、及び他地域での開講の可能性について検討する

(2)事業の実施体制

- *木本 みゆき - 約20年にわたる日本語指導及びボランティア養成指導の経験から幅広い視野に基づいた活動をする。
- *林 真知子 - 長年の夜間中学での指導経験から本事業を深く理解し、幅広い視野に基づいた日本語指導をする。
- *Petia 佐々木 - 外国人住民としての考察に基づいた多様な視点を発信する。
- *島 治美 - 地域の多文化共生活動の促進のため道内自治体・諸団体などとの連携体制作りをする。外国人が社会活動を日本語を駆使して行えるよう指導を行う。
- *札幌及び道内ボランティア団体所属メンバーなどとも協力関係を築いており、この事業が円滑に実施されるような体制がかなり整ってきた。
- *各市町の国際交流課、国際交流協会、保健所などとも連携を増やし、募集、会場確保、講師依頼など進める。

(3)地域における連携体制

(公財)札幌国際プラザ、札幌市、札幌市教育委員会、札幌市生涯学習センター、北海学園大学、千歳市、倶知安町、旭川市、帯広市、北海道文教大学、NPOグローバルヒューマン・イノベーション協会、市内小学校、国内外日本語ボランティア団体などに当事業の意義を深く理解したうえで、後援をいただき、相互に情報提供をする。広報活動・会場提供・交通不便の地域では講師の会場への送迎協力を得る。又各団体から講師を派遣してもらい、当団体からも講師を派遣する。後援サポートをいただく各団体の職員の方々にも、講座に参加してもらい地域に住む外国人との関わり方、日本での生活のポイント指導、その日本語の使い方などを指導。

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称：★「親子で学ぼう日本語（生活の日本語）」 ★スカイプレッスンで学ぼう「社会参加につながる日本語（子育てと冠婚葬祭の日本語とマナー）」】									
目的・目標	外国人観光客が爆発的に増加している昨今、定住者も年々増加の傾向にあり、当該地域では家族同伴も多い。異国の地での生活・子育ては様々な場面において困難も多いため、日本語指導と情報理解についてサポートできるようにする。この主旨を地域の日本語教室で共有し、札幌のみならず道内在住外国人全般に対する支援につなげる。								
対象	親子で学ぼう：外国人親子、スカイプレッスン：札幌市以外の地域外国人生活者								
取組の内容	（親子で学ぼう） 子どもには地域での生活のための日本語指導、漢字、日本語語彙指導。及び日本のマナー（食事時・訪問時・通学時など）を指導。小さい子どもを持つ親を対象に、急病時、保育を依頼するなどの時に対応できるよう地域の仕組みとその日本語を学ぶ。 （スカイプレッスン） 二名程度同時に行うことを目指したが、成立は難しかった。道内の定住者のうちある程度の日常会話が可能な初級後半者は社会参加につながる日本語指導を行いたかったが、本人の希望とは食い違い基本的な文法を希望してきた。ビギナー・初級参加者には日本語の構造を理解してもらいながら、生活の中の必要な日本語を教えた。 。								
実施期間	平成28年 6 月 20 日～平成 29 年 3 月 10 日				曜日・時間帯		○曜日（ 13:30 ～ 15:30 ）		
開催回数	全 74 時間（1回 2 時間 × 30 回、1回 1 時間 × 14 回）				開催場所		SIL 札幌日本語学校		
参加者	総数 20 人 （日本語学習者 17 人、指導者・支援者 8 人など）				使用した教材・リソース		・文化庁カリキュラム案、『まるごと』、当校作成の日本語教材を主に使用。「みんなの日本語Ⅰ」「日本語を学ぼう」「文化庁教材例集」、文字・絵カード、手作り教材		
出身・国別内訳 （人数）	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
		6					3		
	台湾（7 人）、ジャマイカ（1人）、シンガポール（1人）、アメリカ（1人）、アフガニスタン（1人）								
カリキュラム案活用	①カリキュラム案について、②ガイドブック、③教材例集								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要		指導者名	補助者名
1	平成28年8月3日(水) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	自分の言葉で説明する	自分の国の料理の作り方を教える。 電子辞書の使い方を説明する		西山 順子	—
2	平成28年8月3日(水) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	漢字の読み方	生活の中で出てくる漢字の読み方、 音読みと訓読みについて		木本 みゆき	—
3	平成28年8月4日(木) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	非常事態	中学生生活について。 火事、病気、事故、事件の時		外山 静枝	—
4	平成28年8月4日(木) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	漢字の読み方	生活の中に出てくる漢字の読み方、 音読みと訓読み反対語、書き順について		木本 みゆき	—
5	平成28年8月4日(木) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	3	あいさつ	自己紹介、コンビニ、デパート、飛行 機内で「～てください」		西山 順子	—
6	平成28年8月5日(金) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	学校生活	夏休みの話、普段の生活、友達につ いて		林 真知子	—
7	平成28年8月5日(金) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	漢字を読む	新出漢字を学ぶ		廣谷 静架	—
8	平成28年8月9日(火) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	漢字を読む	道順の言い方、看板の言葉、身近な 文房具について		林 真知子	—
9	平成28年8月9日(火) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	漢字を読む	漢字の読み方 漢検の問題集使用		宮畑 陽子	—
10	平成28年8月9日(火) 13:30～15:30	2	SIL札幌日本語学校	3	コンビニ。スー パー。レストランで	買い物をする時使うフレーズ、レストラ ンでの注文		外山 静枝	—
11	平成28年12月26日(月) 13:30～16:30	2	SIL札幌日本語学校	3	コンビニでの会話	数字、簡単な表現 お問い合わせ		宮畑 陽子	—
12	平成28年12月26日(月) 13:30～16:30	2	SIL札幌日本語学校	1	日本の生活	仕事の話、年賀状の書き方		外山 静枝	—
13	平成28年12月26日(月) 13:30～16:30	2	SIL札幌日本語学校	2	自分のことを話す	好きなもの、嫌いなこと、したいこと、 ほしいもの		西山 順子	—

14	平成28年12月26日(月) 13:30~16:30	2	SIL札幌日本語学校	1	プリスクール・ビギナーの日本語	あ・か行のひらがな、色を覚える、体の部を覚える。	P.佐々木	—
15	平成28年12月27日(火) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	家族	趣味、子供の習い事、家族旅行、日本の小学校、日本人の先生	外山 静枝	—
16	平成28年12月27日(火) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	2	日本のお正月を知る	年賀状を書く(先生、友達)	西山 順子	—
17	平成28年12月27日(火) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	プリスクール・ビギナーの日本語	さ・た行のひらがな、色を覚える、体の部を覚える。	宮畑 陽子	—
18	平成28年12月28日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	2	買い物	サイズ、色の在庫を訪ねる、あります、ありません、	宮畑 陽子	—
19	平成28年12月28日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	日本語の勉強	大学に留学した理由、日本語の勉強、若者事情	外山 静枝	—
20	平成28年12月28日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	2	冬休みの思い出	日本の冬の出来事を文章にして話す	西山 順子	—
21	平成28年12月28日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	プリスクール・ビギナーの日本語	な・は行のひらがな、数字を覚える、体の部を覚える。	P.佐々木	—
22	平成29年1月4日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	2	病気表現	体の部位の言葉、病気表現を言う、ドラッグストアでの会話	林 真知子	—
23	平成29年1月4日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	3	自己紹介 日本人宅への訪問	訪問時のマナー、所作日本人と話す話題について考える	木本 みゆき	—
24	平成29年1月4日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	ビギナーの日本語	ひらがな・カタカナ練習、漢字で遊ぶ、お正月の伝統の遊び、カルタ	P.佐々木	—
25	平成29年1月5日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	4	ごみの出し方	ごみの分別、大型ごみの出し方、注意されて謝る	外山 静枝	—
26	平成29年1月5日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	地図	地図を説明する、日本の文化(折り紙)	林 真知子	—
27	平成29年1月6日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	2	訪問	日本人の家を訪問、レストランでの注文の仕方	林 真知子	—
28	平成29年1月6日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	4	病気表現	風邪の症状、薬局で薬を買う、薬の飲み方	外山 静枝	—
29	平成29年1月6日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	2	友達の家へ遊びに行く	靴の脱ぎ方、挨拶のしかた	西山 順子	—
30	平成29年1月6日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日本語学校	1	プリスクール・ビギナーの日本語	ま・ら行のひらがな、数字を覚える、好き・嫌いをいえる。	P.佐々木	—
31	平成28年6月30日(木) 18:00~19:00	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	ビギナーの日本語	レストランでの会話、注文、数の言い方	島 治美	—
32	平成28年7月4日(月) 17:30~18:30	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	初級の日本語	一日のことを話すための新しい動詞、	島 治美	—
33	平成28年7月19日(火) 19:15~20:15	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	ビギナーの日本語	拗音、濁音、日本語の文型	島 治美	—
34	平成28年7月20日(水) 19:15~20:15	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	初級の日本語	趣味について	島 治美	—
35	平成28年8月1日(月) 17:30~18:30	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	初級の日本語	一日を説明する	島 治美	—
36	平成28年8月2日(火) 19:00~20:00	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	ビギナーの日本語	<u>レッスンを忘れて連絡がつかず</u>	島 治美	—
37	平成28年8月9日(火) 19:00~20:00	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	ビギナーの日本語	曜日・い形容詞、な形容詞、	島 治美	—
38	平成28年8月10日(水) 19:15~20:15	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	初級の日本語	<u>予定、直前キャンセル</u>	島 治美	—

39	平成28年8月15日(月) 17:15~18:15	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	初級の日本語	ます、ましたの使用を指導、	島 治美	—
40	平成28年8月16日(火) 20:00~21:00	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	ビギナーの日本語	物の名前、	島 治美	—
41	平成28年8月22日(月) 17:00~18:00	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	初級の日本語	たりたりします。~と思います	島 治美	—
42	平成28年8月29日(月) 17:00~18:00	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	初級の日本語	て形の復習、~ことができました	島 治美	—
43	平成28年9月5日(月) 20:00~21:00	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	ビギナーの日本語	家族の呼称、中国へ行くという話	島 治美	—
44	平成28年9月12日(月) 17:00~18:00	1	SIL札幌日本語学校(スカイプ)	1	初級の日本語	<u>予定、直前キャンセル</u>	島 治美	—

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

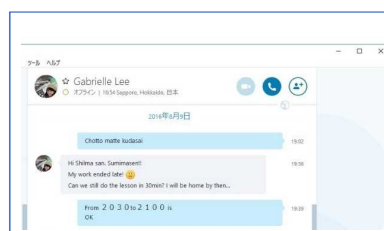
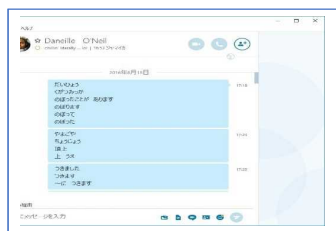
【第22回平成29年1月4日】日本語習得ビギナーに対して、生活場面で応用できるフレーズの練習を行った。レストラン、コンビニなどの場面で。また病状症状を伝えることが出来る簡単な日本語の練習をおこなった。



○取組事例②

【第4回 平成28年8月15日】

ますました、で答えるように指導。旅行の話・・・船での海外旅行。クルーズで働いている友人のおかげで1万円で8日間の船旅をしたという話。JET ALT16人で羊蹄山に上るという話、会話を成立させるために文型(～たことがあります)をそのまま入れた。



(2) 目標の達成状況・成果

「親子で学ぼう」は札幌会場のみ開講。日本で生活するために必要なこと、ごみ問題や病気、薬の飲み方、子供の学校でのマナーを学ぶ。子どもにはなかなか評価は聞けないが、日本での生活に自信を持ったようだった。

(3) 今後の改善点について

家族で来ている場合は学校の問題に困ることがたくさんあり、学習者のレベルによってトピックも変わるので、ニーズに合った指導が必要。講座当日までのレベルの受講者が来るかわからず、臨機応変にニーズを把握するのに時間がかかるため、今後は講座事前にニーズを細かく知る方法を取る必要もあるかもしれない。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称：あわてないで教えよう2016「札幌会場」「旭川会場」「帯広会場」】									
目的・目標	市内日本語ボランティア団体では教科書を中心にした指導をしがちなのだが、定住者に必要なのは暮らしにかかわる知識の確認、その日本語(サバイバル日本語・防災・通院時・マナーの日本語など)である。系統立てて日本語を学んでいない外国人に対する教え方のテクニックを異文化理解を元に学び、地域の日本語教室でそれを生かす。								
対象	日本語指導活動に興味がある一般市町村民								
取組の内容	①異文化コミュニケーションに詳しい講師に講演を依頼し、異文化による摩擦実例とその背景、当事者の感情等を学ぶ。 ②日本語ボランティアが心得ておきたいことをトピックを定めて学ぶ。今年度は子供を持つ外国人に各種手続き・医療(救急医療・休日当番医を探す・連絡する)・お弁当作りなどで困ったことの経験談を話してもらい、外国人のニーズを確認し、そのような場合の指導のポイントとコツを学ぶ								
実施期間	平成28年 9 月 10 日～平成 28 年 11 月 30 日					曜日・時間帯	土曜日(会場により時間はまちまち。3時間)		
開催回数	全 54 時間 (1回 3 時間 × 18 回)					開催場所	札幌市、旭川市、帯広市		
参加者	総数 86 人 (日本語学習者 86 人、指導者・支援者 6 人など)					使用した教材・リソース	カリキュラム案理解のための伊藤 祐郎先生、 に講師研修を依頼し活用方法を検討しつつ取り組みを進めた①「生活上の行為の事例に対応する学習項目の要素」を見て、場面設定の参考にする。②「活動方法の例の具体的内容」を使用し、それぞれの活動方法について学ぶ ⑤「研修受講の記録について」を使って指導力の向上に役に立った情報を交換する。		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	日本(86人)								
カリキュラム案活用	①「生活上の行為の事例に対応する学習項目の要素」、②「活動方法の例の具体的内容」、⑤「研修受講の記録について」								
養成・研修の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要		講師名	補助者名
1	平成28年9月10日(土) 12:30～15:30	3	旭川市国際交流センター	11	北海道の外国人の状況やさしい日本語	北海道、旭川地区の外国人の状況についてやさしい日本語の紹介、非常に時に使う語句の言い換え		木本 みゆき	—
2	平成28年9月17日(土) 12:30～15:30	3	旭川市国際交流センター	11	ゴミ分別の日本語	やさしい日本語復習、ゴミ分けの際の用語についてやさしい日本語で言い換え、説明をする外国人にとって難しい日本語とは		木本 みゆき	—
3	平成28年9月19日(月) 13:30～16:30	3	札幌国際プラザ会議室	64	教材活用について	やさしい日本語の重要性、カリキュラム案		伊藤 祐郎	島 治美
4	平成28年9月24日(土) 12:30～15:30	3	旭川市国際交流センター	10	病気表現	やさしい日本語復習、病気表現の日本語を考える問診票を使って、症状をやさしい日本語で言い換え(薬の飲み方、アレルギー等)日本語文法について		木本 みゆき	—
5	平成28年10月1日(土) 12:30～15:30	3	旭川市国際交流センター	11	日本のマナー(実習)	グループ別にマナー(温泉、訪問、乗り物、自転車)を実際に外国人へ説明してみるフィードバック		木本 みゆき	—
6	平成28年10月8日(土) 9:30～12:30	3	札幌国際プラザ会議室	33	やさしい日本語	災害時の日本語 愛知県・弘前大学・		島 治美 2h 木本 みゆき 1h	島 治美 1h 木本 みゆき 2h
7	平成28年10月8日(土) 13:30～16:30	3	札幌国際プラザ会議室	27	やさしい日本語	同上		島 治美 2h 木本 みゆき 1h	島 治美 1h 木本 みゆき 2h
8	平成28年10月15日(土) 11:30～14:30	3	帯広文化スポーツ会館(会議室)	9	北海道の外国人の状況やさしい日本語	北海道、帯広地区の外国人の状況についてやさしい日本語の紹介、非常に時に使う語句の言い換え		木本 みゆき	—
9	平成28年10月22日(土) 9:30～12:30	3	札幌国際プラザ会議室	26	やさしい日本語	災害時・防災・病気の日本語		島 治美 2h 外山 静枝 1h	島 治美 1h 外山 静枝 2h
10	平成28年10月22日(土) 13:30～16:30	3	札幌国際プラザ会議室	27	やさしい日本語	同上		島 治美 2h 外山 静枝 1h	島 治美 1h 外山 静枝 2h
11	平成28年10月29日(土) 11:30～14:30	3	帯広文化スポーツ会館(会議室)	6	ゴミ分別の日本語	やさしい日本語復習、ゴミ分けの際の用語についてやさしい日本語で言い換え、説明をする(語句から文レベルへ)		木本 みゆき	—

12	平成28年11月5日(土) 9:30～12:30	3	札幌国際ブラ ザ会議室	19	温泉、訪問のマナー 乗り物のマナー	マナー違反について考え、教えなければならぬことを選び、やさしい日本語にする特に地下鉄車内のアナウンス、表示のやさしい日本語	木本 みゆき 2h 林 真知子 1h	木本 みゆき 1h 林 真知子 2h
13	平成28年11月5日(土) 13:30～16:30	3	札幌国際ブラ ザ会議室	26	温泉、訪問のマナー 乗り物のマナー	同上	木本 みゆき 2h 林 真知子 1h	木本 みゆき 1h 林 真知子 2h
14	平成28年11月12日(土) 9:30～12:30	3	札幌国際ブラ ザ会議室	17	雪国の暮らし	訪問マナー、雪の事故時の指導体験	島 治美	木本 みゆき
15	平成28年11月12日(土) 13:30～16:30	3	札幌国際ブラ ザ会議室	22	同上	温泉・食事マナー 指導体験	島 治美	木本 みゆき
16	平成28年11月19日(土) 11:30～14:30	3	帯広文化ス ポーツ会館 (会議室)	6	病気表現日本語の 文法	病気表現について問診票を基に考える薬の飲み方についてやさしい日本語で説明する日本語の文法について(用語を含む)	木本 みゆき	—
17	平成28年11月20日(日) 13:30～16:30	3	札幌国際ブラ ザ会議室	43	市民活動としての支 援	外国人支援の動向・コミュニケーション支援の重要性	神吉 宇一	島 治美
18	平成28年11月26日(土) 11:30～14:30	3	帯広文化ス ポーツ会館 (会議室)	8	日本のマナー(実 習)	マナー(温泉、訪問、乗り物)について考える外国人に対してレディネス調査、マナーについて一人ずつやさしい日本語で説明する。フィードバック	木本 みゆき	—

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第18回 28年11月26日】日本のマナー(実習)

- ・外国人ゲストを迎え、お互いに自己紹介
- ・外国人ゲストへのインタビューする質問を考え、レディネス調査をする。「いつ日本へ来ましたか」「どこに住んでいますか」「日本語を勉強しましたか」等
- (ゼロに近い学習者もいたので、実際は通訳が必要になる)
- ・温泉、乗り物、訪問のマナーについて教えなければならぬことを選び、どんな言葉で伝えるかを考える。
- ・実際に伝えてみる。
- ・外国人ゲストに感想を聞く
- ・フィードバックをする



○取組事例②

【第14回 平成28年11月12日】

訪問のマナー、温泉のマナー食事のマナー、雪による事故などを受講生がグループで考え、外国人にどう教えるかを考える。教えるときの日本語、使用するものなども考え、実際に外国人に教えてみた。アンケートでは受講生はこのように実際教える回数を多くしてもらいたいとあったが。



(2) 目標の達成状況・成果

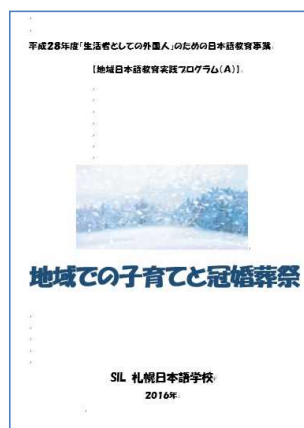
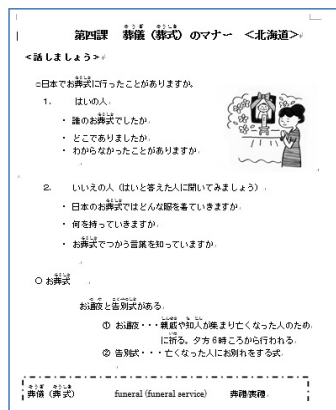
各会場において、どのように外国人に日本語で対応すればいいか、具体的に一つ一つの場面において各自持っている生活情報を確認し、その中で重要な事柄を選び、言い換えを練習していった。又文章レベルでの言い換えも毎回行い、やさしい日本語に対する意識が改めて喚起された。最終日には外国人への実際の指導を体験。出席した参加者のアンケートによると日本語支援を開始したいという参加者が過半数を占めた。

(3) 今後の改善点について

外国人と講座の中で実際に関わりたいという受講生もいるのだが単に交流のみを楽しみたいということもある。又各自が重要だと考える情報の精査もなかなか難しい。今年度は講座登録者は最後までほとんどが出席したが、講座終了後にどの程度指導を行っているのか追跡が出来ていないのが残念である。

日本語教育のための学習教材の作成 【 教材の名称 :地域での子育てと冠婚葬祭】

目的・目標	A:子育て支援 休日の病気、けが 日本での入学 子育て中の外国人生活者が直面する様々な困難に対応できるように、解決のための関係先の情報とそれに要する日本語を学ぶ。外国人の子育て中の孤立を防ぎ、手続きなどにも落ち着いて対応できるような内容にまとめる。 B:冠婚葬祭の日本語とマナー 葬儀 及び結婚式 日本では冠婚葬祭のしきたりについての決まりごとなどが多いため、外国人もその文化的相違をある程度知っておかなければ不必要な誤解等を招く恐れがある。適切な日本語表現やマナーなどを学び日本人と円滑な付き合いをしつつ生活できるようにすることを目標とする。		
対象	日本語ボランティア、外国人生活者。対象たる外国人の日本語能力は初級前半終了～中級前半レベルを対象とする。母語は限定しない。		
教材の内容	A:子育て支援 家族とともに来日した外国人は、特に子育て中には日本語習得もままならない状況と相まって、日本の制度などもわからず、戸惑うことが多い。夜間週末の急病時の日本語の使用、子供の事故を防止するための事物、小学校就学時の手続きに際しての場面で使用する日本語などを整理し盛り込む。 B:冠婚葬祭の日本語とマナー 結婚式・葬式にての慣用的な受け答え、服装、持参するもの、などを日本語表現、習慣とともに学べる教材とする。		
実施期間	平成28年 7 月 15 日～平成 29 年 3 月 15 日	成果物のリンク先	※http://www.silnihongo.com
作成教材の想定 授業時間 コマ数と頁数	1回 3 時間 × 15 回 = 45 時間分	教材の頁数	38 ページ
カリキュラム案活用	①小分類(15～20)や(31)3103を参考にし、当該地域に合った内容を整理し作成する ③(33)P169, 172 など(役所/役場のサービスのことば)を参考とする		
教材の活用方法	道内各地域日本語教室や、外国人生徒のいる学校のPTA等で利用してもらう。人材養成の講座にでも使用		
今後の活用の予定	同上		



4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

外国人が日本で生活していく上で必要となる日本語能力を身につけ、地域に溶け込み、コミュニティの一端を担うことができることを行政や各団体の協力を得て目指す。多文化共生社会の実現に近づくために、異文化を理解し合ったうえで地域社会活動に参加できるような日本語指導・習得を目指す。
北海道の札幌市外の地方に在住しており、定住先自治体に日本語教室がなく日本語教育の機会がない外国人や、冬季積雪などの事情により教室に通えない外国人学習者にスカイプで生活に必要な日本語指導を実施し、その知見を公開する。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

・札幌国際プラザに共催、又、帯広市、旭川市の強力なサポートもいただいたため、年々活動がスムーズになってきている。養成講座の各会場では、具体的な外国人への関わり方がイメージ出来、講座終了後にはボランティアとして支援に加わりたいと言った人もいる。ただ、具体的な活動グループが札幌・旭川・帯広市及び二三の都市以外ではできないようで、外国人が拡散している、又日本語教育のための学習の機会が持てない北海道の課題はなかなか解決されないと思われた。

・カリキュラム案をどのように活用し、どのような成果が得られたか。また、使用する際に気づいた点を具体的に記載してください。
全くの日本語初心者にはカリキュラム案教材例集の写真などを使用して語彙の指導。初級後半者には銀行、病院での対応を活用。
人材養成講座ではカリキュラム案教材例集を紹介。外国人受講者はある程度日本に滞在し日本語が理解できれば、教材例集にある内容以外のものを求める。又日本語がほとんどわからなければ、これらの事例も口移しで暗記するように教えなければならず、指導を受ける外国人のレベルによって使えるものを選ぶ必要がある。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

・本事業を通して関係者とどう連携・協力したか ・当該取り組みも年々受講希望者が増加し、自治体、公共団体のサポートもある程度得られるようになった。講座にも自治体の方に見学をもらい、又事業の後には一緒にフィードバック、もしくは次回へつなげるための問題点などを報告してもらった。今後はカリキュラム案などの活用方法についても外国語を使用して、地域に合わせたやり方をともに検討していきたい。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・参加者への周知・広報にどのように努めたか。特に工夫した点や効果があった点など。事業成果の地域への発信をどのように行ったか、行う予定かを記載してください。 受講者の募集方法 -札幌国際プラザのおかげで 札幌市広報への掲載が可能となり募集効果が格段にあがった。そのほか地方自治体職員がかなり積極的に外国語ボランティアの集まりなどでも周知に努力してくれた。自治体のサポートをいただき、市内広報誌、コミュニティ誌にも掲載。又市内小中学校、道内ボランティア団体への募集要項配布及び当校ウェブサイトへの掲載。外国籍の児童のいる学校からの個別の協力。道内各市町村への募集要項配布・公共施設にでも掲示配布。 日本語学習希望者、指導希望者を集めるために、講座開講以前に全道の国際交流グループ(60件)に連絡を取ったが、実際の活動をしていないグループが多かった。

(6) 改善点、今後の課題について

・3つの取組を通しての本年度の事業で見えてきた新たな課題や今後の改善点について 財務的に厳しく、外国人が集住していない北海道では自治体からの在住外国人支援のための資金補助はあまり期待できない。資金面の援助が難しいのであれば人員レベルのサポートをもらえるよう各団体等が協力して動く必要があると思われる。 又ボランティアグループでは外国人に必要な情報とその日本語を教えるという意識が不足し、どうしても教科書通りの文法積み上げの日本語指導、もしくは英語を使用しての情報提供に固執せざるを得ないようである。その点の意識改革を当該事業にて進めていくことが必要だと思われる。

(7) その他参考資料

教材 Word ファイル